

# ドキュメンタリー映画で学ぶ 社会課題と惑星思考 vol.9

『kapiw と apappo アイヌの姉妹の物語』

(監督:佐藤隆之、2016年)



Dialogue 



今回の Cafe master



山森裕毅

CO デザインセンター 特任講師

program

18:00 - introduction

18:10 - 作品鑑賞

休憩

19:20 - 対話

2018 7/11 WED 18:00~21:00

豊中キャンパス全学教育総合棟 13 階 341 号室 (CO デザインスタジオ)

申し込み不要、入退場自由、飲食可 / 問い合わせ: [yamamori@cscd.osaka-u.ac.jp](mailto:yamamori@cscd.osaka-u.ac.jp)

【カフェマスターからのメッセージ】

福島で原発事故が起こったのが 2011 年。あの事故によって世界や社会に対する人々の見方はガラッと変わってしまったといわれます。ではいったい何が変わってしまったのでしょうか。5月~7月にかけて「フクシマ・エフェクト」と題してフクシマ以後の世界を観てみたいと思います。作品は、直接的に甚大な被害を被った人々や場所に関するものではなく、あえて少し離れた人々や場所に関するものを選びました。それらの作品からいったい何が見えてくるか、参加者で話し合ってみましょう。

【今回の内容について】

『kapiw と apappo アイヌの姉妹の物語』は離れて暮らす姉妹が原発事故を契機に再会し、姉妹でアイヌ民謡のデュオライブを行う過程を追ったドキュメンタリーです。原発事故直後の緊迫感と、それによって生じた人々の移動もたらす変化や出来事を捉えています。原発事故の影響を経済や科学技術、政治といった大きなスケールではなく、個々人の日常生活という身近でささやかなスケールで考えさせてくれます。

DESIGN  
CAFÉ